

令和元年度第2回山梨県富士山科学研究所課題評価の結果について

山梨県富士山科学研究所では、令和元年12月11日(水)に、当研究所において令和元年度第2回目の課題評価委員会を開催しました。

今回、評価対象になった研究課題は事後評価6件で、評価結果は、次のとおりです。

1 課題評価委員(別紙1) 委員長 平田 徹

2 評価対象研究課題

平成30年度に終了した基盤研究4件、富士山研究1件、特別研究1件、計6件に係る事後評価を行いました。

【事後評価 6件】

[基盤研究]

- ① 富士北麓の草原-森林移行帯における種の分布と生育地特性に関する研究 (H27～H30)
- ② 広域的昆虫・クモ相調査による富士山の自然生態系の保全生態学的研究 (H28～H30)
- ③ 血漿および細胞内のバナジウム結合タンパク質の分析ならびにその特徴を明らかにするための基礎的研究 (H28～H30)
- ④ 特定有機化合物放射性炭素年代測定法の富士山噴火史への応用 (H28～H30)

[富士山研究]

- ⑤ 富士北東麓における地下水涵養機構と深部地下水流動系の解明 (H28～H30)

[特別研究]

- ⑥ 富士五湖(特に河口湖)の水質浄化に関する研究Ⅱ—ヘドロの堆積状況の面的把握 (H28～H30)

3 研究課題に対する評価結果

終了課題6課題に対する総合評価点(5段階評価)は、3.7～4.4(平均4.1)で、全ての研究課題について、「妥当」との評価結果でした(別紙2)。

〈 5段階評価 〉

- 5:非常に優れている。
- 4:優れている。
- 3:良好・適切である。
- 2:やや劣っている。
- 1:劣っている。

(別紙1)

山梨県富士山科学研究所課題評価委員会委員名簿

(任期:平成30年8月1日～令和2年7月31日)

職	氏名	所属・役職	専攻分野
委員長	平 田 徹	山梨大学 名誉教授	生態・環境学
副委員長	石 原 和 弘	京都大学 名誉教授	火山物理学
委員	大 山 勲	山梨大学生命環境学部 地域社会システム学科 教授	地域・都市計画
委員	曾 宮 和 夫	環境省自然環境局 生物多様性センター センター長	環境行政
委員	坂 本 宏 史	健康科学大学 理学療法学科 教授	神経解剖学
委員	森 口 祐 一	国立研究開発法人 国立環境研究所 理事	環境システム学 都市環境工学

(別紙2)

令和元年度 第2回 富士山科学研究所課題評価委員会 評価対象研究課題

日時:令和元年12月11日(水)11:00~

場所:富士山科学研究所 2階 第1会議室

評価区分	研究種目	課題名	期間	評価点
事後評価	基盤	1 富士北麓の草原-森林移行帯における種の分布と生育地特性に関する研究	H27 ~ H30	4.2
		2 広域的昆虫・クモ相調査による富士山の自然生態系の保全生態学的研究	H28 ~ H30	4.2
	研究	3 血漿および細胞内のバナジウム結合タンパク質の分析ならびにその特徴を明らかにするための基礎的研究	H28 ~ H30	4.0
		4 特定有機化合物放射性炭素年代測定法の富士山噴火史への応用	H28 ~ H30	4.2
	富士山研究	5 富士北東麓における地下水涵養機構と深部地下水流動系の解明	H28 ~ H30	3.7
		特別研究	6 富士五湖(特に河口湖)の水質浄化に関する研究II—ヘドロの堆積状況の面的把握	H28 ~ H30